

議員 深刻化する孤独、孤立への取組についてたずねる。

健康福祉部長 外出機会が減少し、フレイルや要介護状態への移行のリスクが上昇することが課題。人と人がつながり、誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりを進めていきたい。

議員 超高齢化社会を迎え、要介護状態になっても住み慣れた所で自分らしく暮らすことができ、また、障害のある方や子供等を支える地域共生社会づくりを進めてきた。しかしコロナ禍で人と人、人と社会とのつながりが大きく妨げられたと多くの方が感じている。本市の地域課題及び目指すべき地域像についてたずねる。

地域包括ケア・共生社会について問う



もりおか さとこ 森岡聡子議員



市民生活部長 女性の支援に関する法律では、女性の福祉の増進、人権の尊重や擁護、男女平等の実現等が初めて法律に明記された。本市の相談体制も充実させていきたい。

議員 困難に直面する女性への対応を手厚くするため、DVや性被害、貧困等の解決や自立の促進につながる取組についてたずねる。

女性支援室について問う

教育部長 働く世代や、子育て世代の割合が落ち込む傾向にある。今後は、全世代にわたって、ライフステージに応じたスポーツ機会を提供していく。また、多くの市民が楽しめるよう、様々な企画を検討している。

# 視察にいらっしゃいました

令和4年度 行政視察報告



先進的な取組を調査するため視察に行ってきましたので報告します

## 議会運営委員会

(参加議員) 仁科文秀 齋藤一信 天野喜一郎  
藏本隆文 栗尾典子 東川三郎 山本聡



2月  
6~8

## 議会 ICT 化について



安城市議会は、議会の見える化を推進するため、議会 ICT 化に特化した議会改革を進め、平成 27 年 11 月に「安城市議会 ICT 推進基本計画」を承認決定しています。計画の具現化については、Active・Next・Join・Open (ANJO) を基本事項として行っています。議会 ICT 化については、タブレットの導入のほか、議会 HP のリニューアル、PR 動画の作成、子供向けの HP の開設、Facebook ページの立ち上げなども行っています。

## 議会改革の取組について



可児市議会では、委員会での全会一致を前提に、課題があるときに、委員会代表質問を実施しています。

予算決算審査について、決算審査においては重点事業説明報告書を活用し、重点事業を中心に審査を行い、議会として全会一致した意見のみ、市長に対し提言を行っています。この提言が次年度の予算案に反映されていなければ、議案修正・否決も行います。予算審査においては重点事業説明シートを使って細かく審査しています。

## 議会改革の取組について



岩倉市議会では、議会報告会・市民との意見交換会を総称して「ふれあいトーク」としています。議会報告会は年 2 回、意見交換会はいろんな団体等と行っています。また、議会サポーター制度を取り入れており、任期は 1 年、再任は 1 回可、謝礼は 3,000 円相当のクオカードとしています。このサポーターとの意見交換会は、毎定例会後 2 回、年 8 回行っています。所管の政策提言を積極的に行うため、委員会代表質問を実施しています。